



羅臼町議会だより



しれとこ

令和元年第4回定例会	2
平成30年度決算認定	3
一般質問	4~6
Zoom up!	7
編集を終えて.....	8

令和2年
第162号
 2月10日



令和2年1月4日 羅臼消防団出初式

令和元年 第4回定例会

去る12月11日、令和元年第4回定例会が開催され、令和元年度一般会計、後期高齢者医療事業特別会計、水道事業会計の補正予算や条例改正等13件が審議され、原案通り可決された。

※数字は万円未満四捨五入

議案

令和元年度羅臼町一般会計補正予算

補正額 **508万円追加** 総額 **45億7,952万円**

議会費	議会議員に要する経費	8万円
総務費	庁舎管理に要する経費	516万円
	その他一般行政に要する経費	△712万円
	賦課徴収事業に要する経費	94万円
	参議院議員通常選挙に要する経費	△56万円
	道知事及び道議会議員選挙に要する経費	△59万円
	町長及び町議会議員選挙に要する経費	△342万円
	民生費	障がい者自立支援事業に要する経費
	特別会計繰出金に要する経費	△38万円
	後期高齢者医療費負担金	366万円
衛生費	予防接種に要する経費	26万円
農林水産業費	その他農業振興に要する経費	435万円
	林業行政に要する経費	32万円
商工費	商工振興に係る共同利用施設整備に要する経費	1,622万円
教育費	小学校の管理に要する経費	61万円
職員費	給与費	△1,489万円

議案

令和元年度羅臼町後期高齢者医療事業特別会計補正予算

補正額 **38万円減額** 総額 **6,932万円**

後期高齢者医療広域連合納付金	△38万円
----------------	-------

議案

令和元年度羅臼町水道事業会計補正予算

補正額 **434万円追加** 総額 **2億1,099万円**

配水及び給水費	389万円
総係費	45万円

追加議案

令和元年度羅臼町一般会計補正予算

補正額 **2,248万円追加** 総額 **46億200万円**

民生費	その他老人福祉に要する経費	2,248万円
-----	---------------	---------

条例の改正

- (一) 羅臼町議会議員の議員報酬及び費用弁償条例の一部改正
- ※ 人事院勧告に伴う期末手当に係る条例改正
- (二) 職員の給与に関する条例の一部改正
- ※ 人事院勧告に伴う給与条例改正
- (三) 羅臼町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定
- ※ 地方公務員法、地方自治法の一部改正による会計年度任用職員制度の創設
- (四) 地方公務員法及び地方自治法の一部改正による関係条例の整備に関する条例の制定
- ※ 会計年度任用職員制度の創設に伴う関係条例の改正
- (五) 羅臼町森林環境譲与税基金条例の制定
- (六) 羅臼町印鑑条例の一部改正
- ※ 印鑑登録証明事務処理要領の一部改正に伴う改正
- (七) 羅臼町国民健康保険条例の一部改正

※ 国民健康保険事業の運営に関する協議会委員の定数変更に伴う条例改正

- (八) 羅臼町水道事業給水条例の一部改正
- ※ 水道料金の値上げに伴う条例改正

議員発議関係

- (一) 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書
- (二) 新たな過疎対策法の制定に関する意見書

人事案件

人権擁護委員

中陳 美鈴氏

(任期) 令和二年七月一日

〜 令和五年六月三十日まで

選挙管理委員

委員長 白坂 雄一氏

職務代理人 岡本 邦子氏

委員 池田 幸世氏

委員 高橋 政子氏

(任期) 令和元年十二月二

十六日〜 令和五年十二月二

十五日まで

町長の行政報告から

- (一) 「一校一園化」について 適正配置計画について更に議論を深め、年限にこだわらず協議を進めていきます。
- (二) 「羅臼町公民館」について

耐震診断により使用できず解体工事を進めています。

- 現時点では公民館建設は考えておらず、当面既存の施設で対応していきます。
- (三) 「羅臼町体育館」について

耐震改修と内部改修を実施し公民館施設の目的が立たない中、調理実習室を増やして、令和三年六月頃にリニューアルオープンを目指します。

令和元年九月二十八日、共栄町チトライ川治山工事現場で火災発生。消防車三台、分団積載車三台が出動したが、延焼も無く鎮火する。

決算特別委員会審査報告書

認定第一号 平成三十年年度 目梨郡羅臼町一般会計

本会計は適正に執行されたことを認める。

深刻な財政環境の中、将来に備えた「公共施設整備基金」等への積立は一定の成果として表れている。

自主財源の町税収入は減となったが、収納率の向上は努力の結果である。引き続き滞納額の圧縮・強化を求めます。

認定第二号 平成三十年年度 目梨郡羅臼町国民健康保険事業特別会計

本会計は適正に執行されたことを認める。

国保税の収納対策に万全を期し、新たな滞納の抑制に努めるとともに、滞納額の圧縮を求める。今後も引き続き、健康づくりや予防活動の充実・強化を図り、医療費の縮減に繋がる取り組みを望む。

認定第三号 目梨郡羅臼町 介護保険事業特別会計

認定第四号 平成三十年年度 羅臼町後期高齢者医療事業特別会計

認定第五号 平成三十年年度 目梨郡羅臼町国民健康保険診療所特別会計

認定第三号・第四号・第五号共に本会計は、適正に執行されたことを認める。

認定第六号 平成三十年年度 目梨郡羅臼町水道事業会計

本会計は、適正に執行されたことを認めたが、今後の水道事業運営を考慮したとき、早期の整備計画、住民説明・周知を求めるとともに施設設備の維持・点検に十分配慮し、安全で安定した水道事業運営の努力を求める。

総括質疑事項

(一) 平成三十年水道事業会計について

(二) 各会計における不用額と今後の予算の見直しについて

(三) 公営住宅使用料の収入未済額について

(四) 社会福祉協議会に対する町の考え方について

平成三十年十二月十六日

決算特別委員長 松原 臣

行政の考えを問う

3人の議員による5件の質問が提出されました。

令和元年

第4回定例議会

一般質問

高島議員

一校一園化について

町長 一校一園化の課題に対し、十分な説明や理解には至らなかった

高島 讓二議員



は行政運営上の判断である」教育長答弁は「令和四年四月一日の一校一園化に向けたスケジュール通りに進める」とお答えいただきました。

また、適正配置計画を策定されずに一校一園化について説明会を行いました。

しかし、十一月十一日に行われた全員協議会において「一校一園化については、令和四年四月一日にはこだわらない方針に転換をした」

質問
九月十二日に開催された第三回定例会において同様の質問をしました。

町長答弁は「令和四年度からの一校一園化について



理解には至らなかったと認識している。

今一度、時間をおいて整理し、適正配置計画について、さらに議論を深める必要性を感じ、一校一園化の年限を令和四年にこだわらず、適正配置計画の作成を指示した。

と発言されました。

どのような理由で方針転換をされたのでしょうか？
さらには、適正配置計画はいつ策定されるのでしょうか？

また、公民館については「一校一園化と関連し、春松小学校を公民館としたい」との町長答弁は、どうなるのでしょうか？

湊屋 町長

七月から数回、一校一園化について説明会を実施してきたが、適正配置計画とその先にある一校一園化の課題に対し、十分な説明や

教育長

適正配置計画の策定については、今年度中に素案を策定し来年度に学校関係者、保護者、有識者等と話し合っ

議員 坂本 小学校・幼稚園、一校一園化計画の現段階での問題点と考え方は

教育長 今一度、時間をおいて整理し、様々な課題について協議する

坂本 志郎 議員



質問

当町における小学校、幼稚園の適正規模・適正配置を考へて進める場合、何が必要でどのような手続きを取るべきなのか。

文部科学省は少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて通達文書を出しています。そこでは「過去に学校規模を重視するあまり無理な学校統合も見られた事から、地域住民の理解と協力を得て行うよう努める事や、小規模校の利点を踏

まえ、総合的に判断した場合、存置、すなわち残す方が好ましい場合がある事、学校規模の適正化や適正配置の具体的検討については、行政が一方的に進める性格のものではなく、各市町村においては、学校が持つ多様な機能、防災、保育地域の交流等の場にも留意し、



学校教育の直接の受益者である保護者や将来の受益者である就学前の子を持つ保護者の声を重視しつつ、地域住民の十分な理解と協力を得るなど、『地域とともにある学校づくり』の視点で踏まえた丁寧な議論が必要」と言っています。私は今後の進め方としてPTA・地元代表・行政・教育委員会で構成する「検討会」を立ち上げ、議論し一定の結論を得た上で関係する保護者との話し合いに入るべきと考える。

教育長

学校の適正規模につきましては、学校教育法規則第十七条において「小学校は十二学級以上十八学級以下を基準とする」とされており、当町の小学校は二校とも六学級であり、小規模校と位置付けられます。幼稚園においても同様です。

町内には現行の適正規模に該当する学校はなく、可能な限り適正規模へ近づけ

更なる教育環境整備に努力しなければなりません。又、過小規模校は教育条件も困難を極めることから、地域の理解のもと、早期にその解消を図らなければなりません。

今後のスケジュールについては、今一度時間をおいて整理し、まずは適正配置計画について更に議論を深める必要性を感じたため、今後は、学校関係者や教育関係者、各種委員等の意見を聞きながら適正配置計画を作成し、様々な課題に対しての協議を進めます。

湊屋 町長

これまで教育委員会が主体となって説明会を実施してきましたが、適正配置計画と、その先にある一校一園化の課題に対し、十分な説明や理解に至らなかった事は残念であると感じています。

また、実際に統合先へ園児及び生徒を通園・通学させることに不安視する声がある

多くあったこと、町として羅臼町の子どものためにより良い教育環境の整備について理解を得られるためには、なお議論を深める必要性があると認識を持ったところ



坂本議員その他の質問

○ヒゲマと共存できる保護と管理に関して

加藤議員

子ども子育て支援事業について

町長 三歳児未満の一時預かり事業の内容の充実を図る

加藤 勉 議員



援センターの「一時預かり事業」の内容の充実を図りながら、民間の保育施設等と連携しながら、幼稚園入園前の保育体制を維持して行きたい。

幼稚園児に対する保育施策については、今年二月の「子ども子育て支援法」の一部改正により、今年十月

羅臼町における子ども子育て事業について三歳児未満・幼稚園児に対する保育事業について現在の取り組み状況と今後の対策について伺います。

湊屋 町長

三歳児未満に対する保育事業については、民間で運営する認可外保育園と町の子育て支援センターの「一時預かり事業」があります。今後においても子育て支



春松幼稚園で十五件、羅臼幼稚園で二十六件を認定しています。

から幼稚園の保育料無償化が実施され、当町では、朝七時三十分から始業時までの特別保育と、十五時から最大十八時までの延長保育について、認定を受けた家庭については無償としています。

尚、これまで十三時から十六時までの預かり保育料月額三千円についても、十三時から一時間短縮した十五時まで全て無償としています。延長保育については

二学期からは幼稚園の給食をスタートしましたが、残食も少なく保護者からの評価も高いと聞いています。今後においても、安心で安全な給食に心がけて参ります。

来年度から実施される第二期子ども子育て支援事業計画の策定年であり、現在は計画策定に向け作業中で、今年実施したニーズ調査の結果から三月中に報告できればと考えています。



障がい者自立支援について

加藤議員

町長 相談窓口の充実を図る

質問

当町における障がい者の自立支援、特に肢体不自由

重度障がい者に対する支援内容と今後の取り組みを伺います。

湊屋 町長

当町の障がい者自立支援の主な内容は、「移動支援」「日常生活用具給付」「地域活動支援センター」「コミュニケーション」等の事業があります。当町では、肢体不自由重度障がい区分一種の方々は二十七名おり、それぞれ必要なサービスを利用されています。相談等があった場合は「根室圏域障がい者総合相談センター」あぐせす根室」の専門員による支援をお願いしてきたところですが、町内においても専門的な相談等に対応できるような窓口の充実を図っていきます。



Zoom up!



令和二年羅臼消防団出初式



一月四日(土)午前十時より羅臼漁業協同組合三階ホールに於いて、令和初めての羅臼消防団出初式が中司哲雄道議を始め多くの来賓の出席を頂き開催されました。最初に開会宣言の後、栄

町高台町内会・岬町町内会、礼文町南町内会・栄町町内会・海岸町町内会の五町内会の無火災町内会の表彰後、二十年・十年勤労章、功績章、特別功績章、二十年・十年勤続章、四十年勤続章、功労賞、功績賞、特別功労賞、皆勤賞、精勤賞、五年勤続章の表彰を行い、町長新年の挨拶、団長訓辞、消防長激励の言葉、来賓より祝辞を頂き市街地へパレードに向かいました。

令和二年も火災や災害が起こらない平穏な年でありますようお願いいたします。

羅臼消防団に昨年十月一日に初めての女性消防団員が誕生し、今回出初式に出席されました。

女性消防団の募集にあたっては、根室管内の消防団では唯一、羅臼消防団に女性消防団員がいなかったことから昨年募集をしたところ、志願された次の五名が採用されました。

- ・春日町 奥山 玲子さん
- ・春日町 吉田 智子さん
- ・松法町 田中 智美さん
- ・礼文町 佐藤 裕子さん
- ・礼文町 若澤めぐみさん

今後は女性ならではの視点で活動し、羅臼町住民の財産を守るためにご尽力を賜りたいと思います。



議会の動き

11月

5日	議会改革特別委員会プロジェクト	4名
8日	決算審査特別委員会（総括）	4名
	羅臼町表彰式	6名
11日	全員協議会	10名
	議会改革特別委員会	10名
13日	第63回町村議会議長全国大会（東京都）	議長
	山梨県山梨市議会視察来町	副議長
24日	千歳船橋駅列車接近メロディー導入記念式典（東京都）	議長
	議会報告会（役場）	9名

12月

1日	北方領土返還要求中央アピール行動（東京都）	議長
2日	北方領土返還要求政府要請行動（東京都）	議長
5日	議会運営委員会	
7日	羅臼町商工会青年部50周年記念式典	副議長
10日	議会運営委員会	
	全員協議会	
11日	令和元年第4回定例議会（1日目）	
12日	経済文教常任委員会	
13日	総務民生常任委員会	
16日	令和元年第4回定例議会（2日目）	
17日	行政懇談会	議長
23日	根室町村議会議長会第1回臨時総会	議長・副議長
24日	羅臼町シルバーいきがいセンター設立総会	議長
26日	議会だより編集特別委員会	

1月

4日	令和2年羅臼消防団出初式	7名
7日	令和2年羅臼町新年交礼会	7名
	令和2年羅臼町成人式	7名
14日	議会だより編集特別委員会	
21日	町長・議会議長と商工会正副会長が新年を迎え語り合う会（中標津町）	議長
24日	議会改革特別委員会次年度打合せ（札幌市）	5名
27日	議会だより編集特別委員会	
29日	議会運営委員会	
31日	議会だより編集特別委員会	



佐藤 晶 議長

羅臼町議会議長
年頭ご挨拶

令和二年の新春を皆様とともに迎えられた事を心か

らお慶び申し上げます。昨年からは議会改選期で、五月から新たな体制での出発になりました。特に議会基本条例を踏まえて、活性化に向けた議会の取組みが最重要と考え、「議会改革特別委員会」を設置し、検討・協議を進めているところで、時間を要する内容が多く、議論の積み重ねが大事な一年になるかと思えます。

産業経済・教育文化・医療福祉と、町の課題は山積しております。行政と議会が課題をしっかりと共有し、解決に向け、子供から高齢者まで安心して暮らせる町づくりを全力を尽くす一年でありたいと願っております。皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます、新年の挨拶と致します。



編集を終えて



明治は四十五年、大正は十五年、昭和は六十四年、平成は三十一年続き、新元号の令和は二年目に入りました。

先日、羅臼町の成人式に参加しましたが、新たに六十二名が成人されたとの事で、心からお祝いを申し上げます。

私は昭和の戦後ベビーブームに生まれた団塊の世代で二〇二五年問題（団塊の世代が七十五才以上となる）の当事者でもあります。

「明治は遠くなりにけり」という言葉がありますが、「昭和も遠くなりにけり」というのが実感でもあります。令和二年が皆様にとって良い年でありますように。

(S記)

